

事業概要書

| | |
|-------|--------------------|
| 事業名 | 「まつどの介護」プロモーション事業 |
| 団体名 | NPO法人SmileResource |
| 事業担当課 | 介護保険課 |

| |
|--|
| 事業概要 |
| 松戸市の介護支援における資源をプロモーションビデオ（動画コンテンツ）にすることで“見える化”を図り、「分かりやすく利用しやすい松戸市の介護」の促進を図る事業を実施する。 |

| | |
|----------------------------|---|
| <p>取り組もうとする松戸市のテーマ（課題）</p> | <p>松戸市は平成30年に各地域に15カ所の地域包括支援センターが設置され、常にその地域での相談をワンストップ体制で支える仕組みをつくり、その他にも認知症啓発のための活動や近年では専門職を中心にフレイル予防への取り組み等と市内の高齢化及び介護保険制度の動きに合わせ、より活動が活発になっています。</p> <p><u>課題①「市民への周知の難しさ」</u></p> <p>しかし、多くの資源を準備し手厚い介護支援体制を構築しているにもかかわらず、市民の「松戸の介護支援」に対する認知度は決して高いものではありません。福祉の時代、介護の時代という大きな地域社会の背景の中、それらの存在をもっと市民に理解し易く伝えることが求められています。</p> <p>その為には、情報を得る手段を工夫し、市民の認知度を高めることが必要と考えられます。</p> <p>昨今、コロナ禍に合わせた新しい生活様式が求められる社会において、「インターネットやアプリケーションを利用したオンラインでの情報収集」は必須となっていきます。松戸市においても、それらを活用できる情報発信のクオリティを向上させることで、「いつでもどこでも、手軽に松戸市の介護サービス情報を“見る、知る、聞く”ことができる」体制整備を進める必要性が高まっています。</p> <p><u>課題②「若者の力をもっと活用したい」</u></p> <p>地域における高齢者支援は高齢者（地域活動）が支えている印象がありますが、これからの時代では若い人材の力を活かす取り組みが必要です。</p> <p>ホームページやSNSといったツールを使って今まで以上に「松戸の介護を見える化」した情報を発信し、老若男女問わず、松戸の介護に関心を寄せていただき、理解度を高め、高齢者福祉の課題を松戸市民全体で支えていく体制をより強硬なものとするのが求められています。</p> |
| 事業の目的 | <p>この事業は次のことを目的として進めていきます。</p> <p>課題①の解決策として『誰もが、いつでもどこから（自宅、仕事場、市外、病院のベッドの上等）でも手軽に楽しみながら「松戸の介護資源」の情報を得られるように“見える化”することで、具体的な介護制度の利用方法・サービス内容を理解し易くなり、支援体制の認知度向上へ繋げていく』</p> <p>課題②の解決策として『市内外に問わず、介護の資格所得を目指している学生（高校生、専門学生、大学生等）に動画制作への協力を仰ぐことで</p> |

| | |
|--------|--|
| | 活動の中で“松戸の介護”について実体験を伴って学べる機会をつくる』 |
| 事業内容 | <p>市内に幅広く整備されている介護支援体制（行政、事業、市民活動等）をプロモーションビデオ（PV）化し、松戸市公式サイト（まつどDEいきいき高齢者にリンクさせる）やfacebook、Twitterにアップロードすることで、「松戸の介護の見える化」を図る。</p> <p><u>介護支援体制及び介護事業所（サービス内容等）のPV化（種別ごと）</u> （PV制作について）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松戸市内の事業所を訪問し、以下の動画を撮影。 事業所の位置（周りの環境など）、外観、設備、サービス提供風景等 なお、動作制作に要する機材としてはスマートフォン、カメラ、動画編集ソフト、インターネット接続機器等を使用。 ・撮影スタッフ構成 団体スタッフ1名～2名+学生ボランティア2～3名 *学生ボランティアは担当課と協力の上、学校へ直接依頼し募集します。 ・主に取材・撮影する種別 介護施設、通所事業所、訪問系事業所、福祉用具事業所など ・事業周知のためのチラシ作成（市内介護事業所などへ配布） |
| 協働の必要性 | <p>①福祉というテーマ性から市民に信頼していただき、広く伝えるためには公共的な関わりが重要になります。 そのためには当法人単独での活動では実現が困難であり、介護分野の各団体からの協力や連携が必ず必要となってきます。各種団体との連携を図るためにも行政との連携・協働を事業として取り組むことが重要になります。</p> <p>②このプロジェクトを成功させ松戸市の新しい資源とするためには、行政として力を入れている事業や市民の方に知ってもらいたいことなどを、松戸市を通じてクローズアップすることが必要です。そのためには内容の監修も含めて、市内の介護を担う担当課（介護保険課）の職員に入ってください必要があります。</p> <p>③そして最後に、この取り組みを地域住民にアナウンスする必要があります。PVを準備しただけでは活用されません。より多くの方に閲覧していただき始めて効果が表れます。地域へアナウンスをするに行政を通じた公共の場などで発信をしたり、松戸市公式のHPやSNSを活用する必要があります。これらのことから行政との連携・協働を図り実行すること求められます。</p> |
| 事業の目標 | <p>①「種別ごとの介護」を事業毎に5～10分程度のPVとして作成 初年度目標数 大よそ30種別中15種別（15本～20本程度） （*単純な事業説明からフィクション的な動画までと事業の特性に合わせて幅広く制作する。）</p> <p>②介護を学ぶ学生ボランティアの参画 5～10人</p> |

事業の予算概要

【労力換算（限度額算入）】

（単位：円）

| 区分 | 科 目 | 予算額 | 積算内訳 |
|----|-----------|-----------|----------------|
| 団体 | 労力換算額 (A) | ¥ 475,345 | ※別紙 労力換算計算書 参照 |

【収 入】

| 区分 | 科 目 | 予算額 | 積算内訳 |
|-------------------|--------------|-----------|------|
| 団体 | 団体拠出金 | ¥ 37,900 | |
| | 自己資金の合計額 (B) | ¥ 37,900 | |
| 市 | 協働事業負担金 (C) | ¥ 341,100 | |
| 合計額 (D) = (B + C) | | ¥ 379,000 | |

【支 出】

| 区分 | 科 目 | 予算額 | 積算内訳 | |
|-------------------|----------------|---------------|---|--|
| 対象経費 | 使用料 | ¥ 90,000 | 施設使用料 会議室 3,000円×30回 | |
| | 使用料および賃借料 | ¥ 70,000 | 動画編集ソフト（ライセンス料） 10,000円/年 撮影機材 カメラ（リース代） 5,000円×12ヶ月 | |
| | 消耗品費 | ¥ 79,000 | 資料作成用インク代 3000円×6セット コピー用紙代 3000円×3箱（15,000枚） 事務用品代 ケースファイル 100円×10個 クリアホルダー 100円×20個 動画編集に関する書籍代 2000円×3冊 スタッフジャンパー 3000円×5着 腕章代 2000円×5個 SDカード代（128M） 3000円×3枚 撮影機材セット 三脚等 9000円×1台 | |
| | 食糧費 | ¥ 40,000 | 撮影時のお茶代（ボランティア用） 菓子代 (1回) 2,000円×20回 | |
| | 印刷製本費 | ¥ 5,000 | 動画案内のチラシ 5000円（1000部） | |
| | 通信運搬費 | ¥ 75,000 | 動画編集用インターネット利用料 月5,000円×12ヶ月 郵便代ゆうメール 180円×50施設 郵便（定形外） 120円×50回 | |
| | 委託料 | ¥ 20,000 | チラシデザイン料 20000円×1回 | |
| | 対象経費の合計 (E) | | ¥ 379,000 | |
| | （その他） 対象外経費 | | | |
| | | その他経費の合計額 (F) | ¥ 0 | |
| 合計額 (G) = (E + F) | | ¥ 379,000 | | |

【チェック項目】

- 1 協働事業負担金 (C) が、対象となる経費 (E) 欄の90%以内であること。
- 2 協働事業負担金 (C) が、自己資金 (B) 欄に労力換算額 (A) 欄を加えた額を超えないこと。
- 3 協働事業負担金については、50万円を上限とする。

労力換算計算書

(単位：円)

| 項 目 | | 換算額 | 積算内訳 |
|-----------------------|---------------|-----------|--------------------------|
| 労 力 換 算 額 | 活動計画 | | 人数×時間回数×923円 |
| | 会議・打ち合わせ（11回） | 152,295 円 | 5 人 × 3 h × 11 回 × 923 円 |
| | 撮影企画準備 | 121,836 円 | 3 人 × 2 h × 22 回 × 923 円 |
| | 撮影及び編集 | 182,754 円 | 3 人 × 3 h × 22 回 × 923 円 |
| | ボランティア説明会 | 9,230 円 | 5 人 × 2 h × 1 回 × 923 円 |
| | 説明会準備 | 9,230 円 | 5 人 × 2 h × 1 回 × 923 円 |
| | | | 人 × h × 回 × 923 円 |
| | | | 人 × h × 回 × 923 円 |
| | | | 人 × h × 回 × 923 円 |
| | | | 人 × h × 回 × 923 円 |
| | | | 人 × h × 回 × 923 円 |
| | | | 人 × h × 回 × 923 円 |
| | | | 人 × h × 回 × 923 円 |
| | | | 人 × h × 回 × 923 円 |
| | | | 人 × h × 回 × 923 円 |
| | 合 計 (A) | 475,345 円 | |